

第 67 号

発行日
2023. 3.18

Super Highway 春闘速報 13

J R 東労組バス関東本部



申6号 第2回団体交渉 (3月17日開催) 要旨

組合) 賃金が、物価上昇に追いついていない!!

会社) その認識は持っているが、コロナの回復状況を踏まえ総合的に判断したい。

組合) 人材流出について危機感を持っているのか?

会社) 危機感を持っている。採用に対してトップギアで取り組んでいる。しかし、採用から独り立ちするまでに時間がかかる事を考えてほしい。

組合) 2022 期末手当から 2023 年の期末手当の諸元で 73 名が定年退職を含め人材がいなくなっている。人材流出に関してどのような認識なのか?

会社) 採用をストップしていた影響である。採用を開始し、コロナの状況を踏まえて増便していく。

組合) アンケートの意見にて、現時点で生活が厳しいとの意見が出されている賃金が人材流出に関わると考えている。物価の上昇に加え、コロナの期末手当の低回答、21 春闘での定昇カットは組合員の生活に大きい影響がある。

会社) **物価の上昇に関しては、認識している、検討の余地はある。**しかし、経営の難しい所でコロナ禍の回復状況を踏まえて判断していきたい。

組合) 21 春闘の定昇カットの件に関して、上乗せなり元に戻すという考えはないのか?

会社) 戻すという、概念はない。

組合) 新賃金制度の離職が多いのでは?若い方を採用するため良い意味での改正が必要なのでは?

会社) 新賃金制度は一回改正している、改正も検討している。

組合) 55 才減額制度に関しての見直し改善についてはどうか?

会社) 55 才減額に関しては、今すぐには言えないが 100%廃止をめざしている。

組合) 組合員の声を集約するにつけ、皆さんのモチベーションが心配な状況である。

会社) 従業員の満足度が不満との声が出てこないようにしていくことが大切だと考えている。意欲がなくなれば、安全も脅かされる。

また、組合員のアンケートから「離職の理由は賃金だ」「この回答は信じられない」

「生活が成り立たない」等の切実な声を訴え、会社からは**貴側の思いは、経営陣に届ける。**

との回答がありました。引き続き満額回答に向けて共にたたかきましょう!



J R バス 関東で働く仲間を一つに!